

県立広島大学大学院総合学術研究科における大学院生の教育研究環境に関するアンケート調査報告（平成27年度実施）

実施期間 平成27年12月～平成28年1月

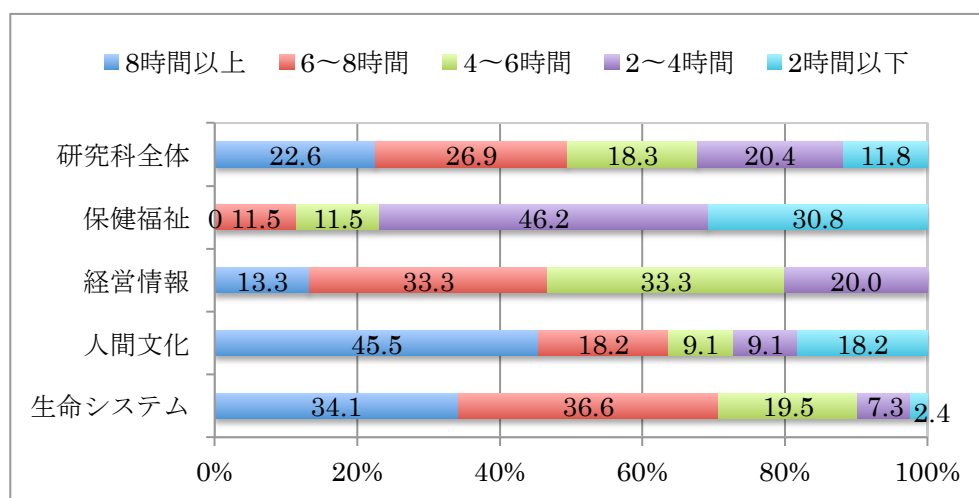
アンケート配布数：148名（保健福祉学専攻 60名，経営情報学専攻 18名，人間文化学専攻 22名，生命科学専攻 48名），回収数：93名（保健福祉学専攻 26名，経営情報学専攻 15名，人間文化学専攻 11名，生命システム科学専攻 41名）

平成27年度アンケート調査では，総計93名（63%）の院生が回答した。専攻毎の回収率は，保健福祉学専攻 43%，経営情報学専攻 83%，人間文化学専攻 50%，生命科学専攻 85%であった。

【学習・研究・授業に関する質問】

1. あなたは学習や研究に1日あたりどれくらいの時間をあてていますか。

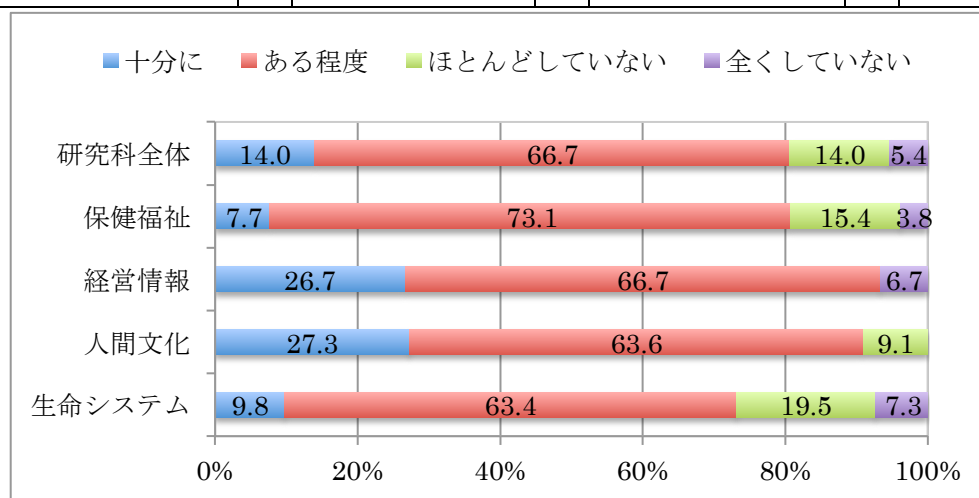
1	8時間以上	2	6～8時間	3	4～6時間	4	2～4時間	5	2時間以下
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------



学習・研究時間が「8時間以上」と回答した院生は生命システム科学専攻 34%，人間文化学専攻 46%，経営情報学専攻 13%の順であった。大部分が社会人である保健福祉学専攻では，1日あたりの学習・研究時間は「2～4時間」または「2時間以下」と回答した院生が 77%で，学習時間の確保が重要な課題と思われる。

2. 履修している授業のために，授業時間以外の学習（予習や復習等）をよくしていますか。

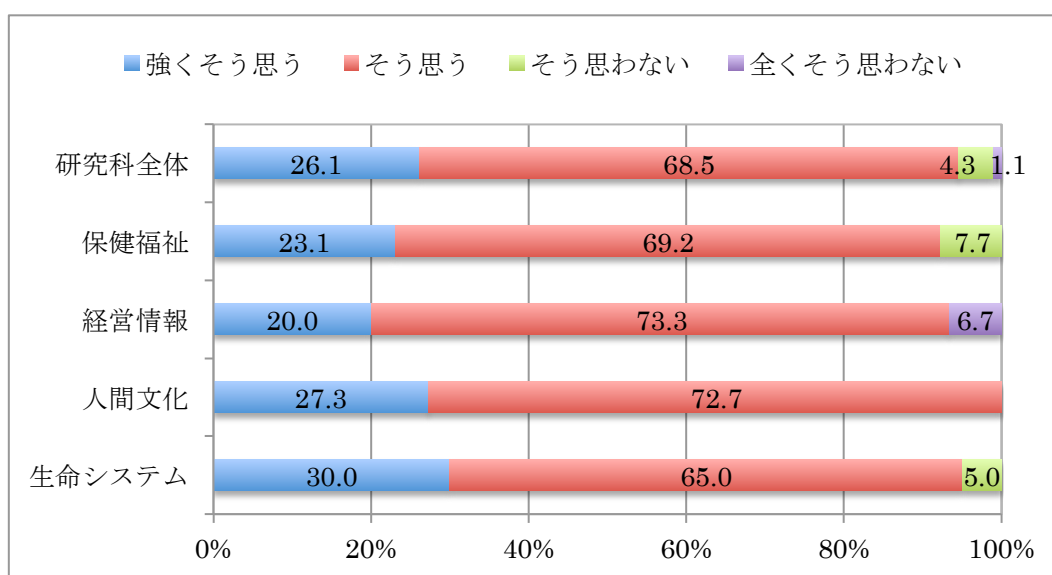
1	十分にしている	2	ある程度している	3	ほとんどしていない	4	全くしていない
---	---------	---	----------	---	-----------	---	---------



授業時間以外の学習時間は，「十分に時間を割いている」と「ある程度している」を合わせると，どの専攻も7割を超えており，同様な傾向である。

3. 授業の目標は明確で体系的であったか。

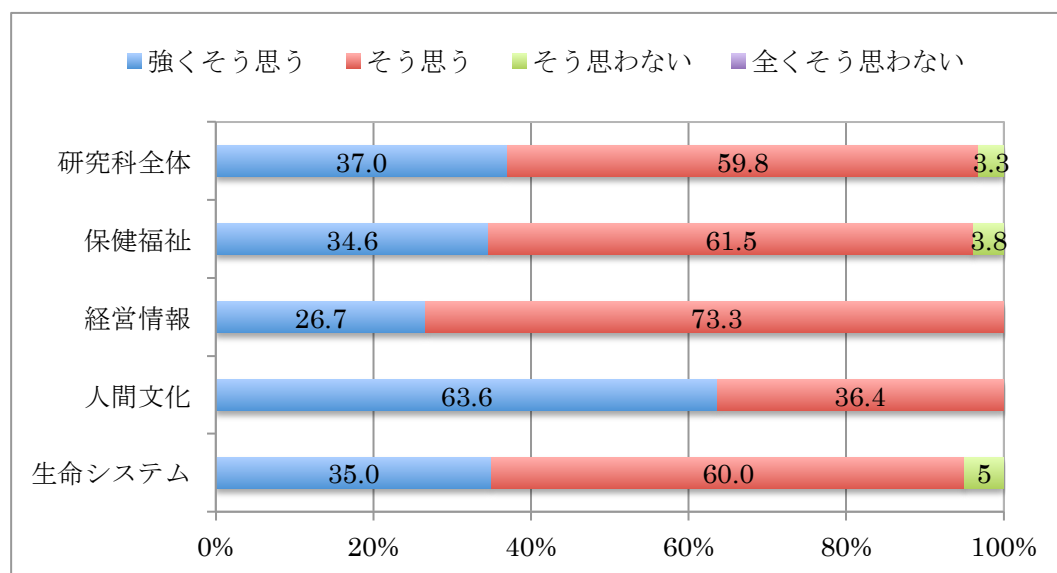
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



「強くそう思う」、「そう思う」と回答した割合は、80%以上である。研究科全体としても、90%以上が授業の目標は明確で、体系的と感じている。

4. 教員の講義の準備は十分で、内容は整理されている。

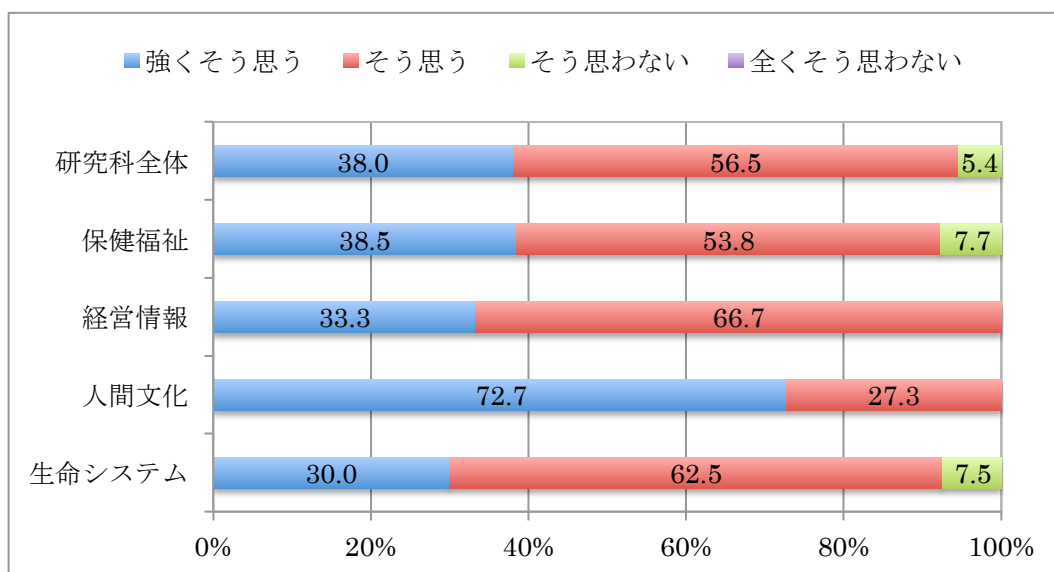
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



すべての専攻でも90%以上の学生が、講義に対する教員の準備は十分で、内容は整理されていると「強くそう思う」または「そう思う」と回答した。

5. 研究内容や専門領域の伝わる良い講義であったか。

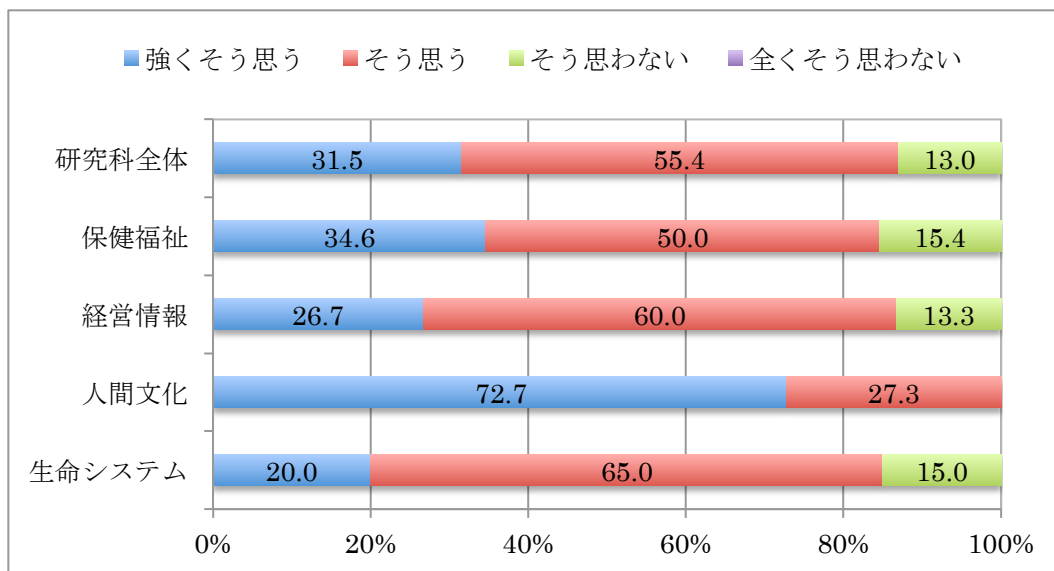
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



どの専攻でも 90%以上の学生が、研究内容や専門領域の伝わる良い講義であったかの質問に対して、「強くそう思う」、または「そう思う」と答えている。

6. 授業内容は大学院の講義として適切であるか。

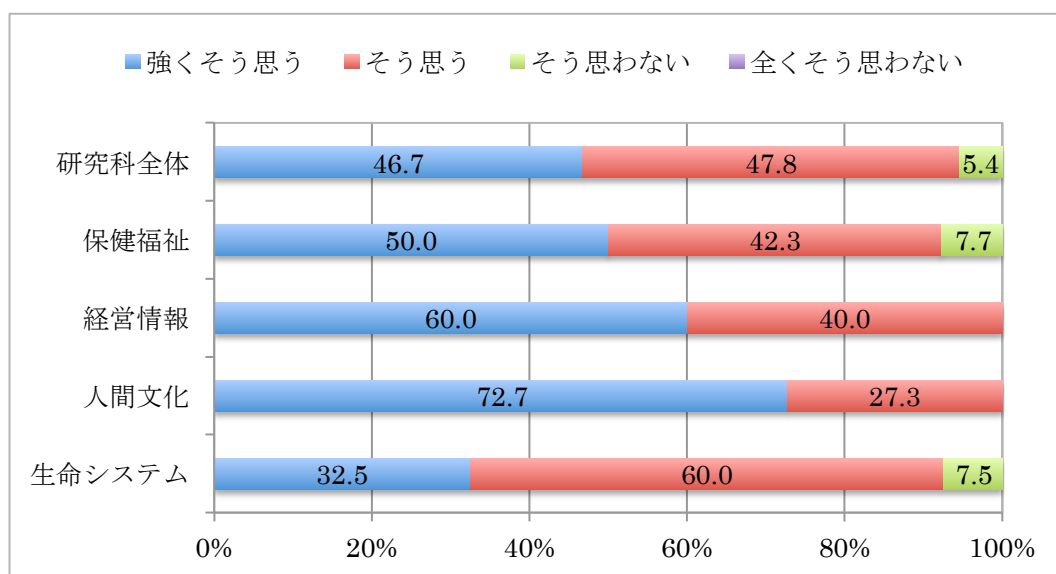
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



授業内容は大学院の講義として適切であったと肯定的にとらえる意見が 85%を超えている。一方で、「そう思わない」という回答が保健福祉学専攻と生命システム学専攻ともに 15%ある。講義内容の精査は必要である。

7. 教員の熱意が感じられたか。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

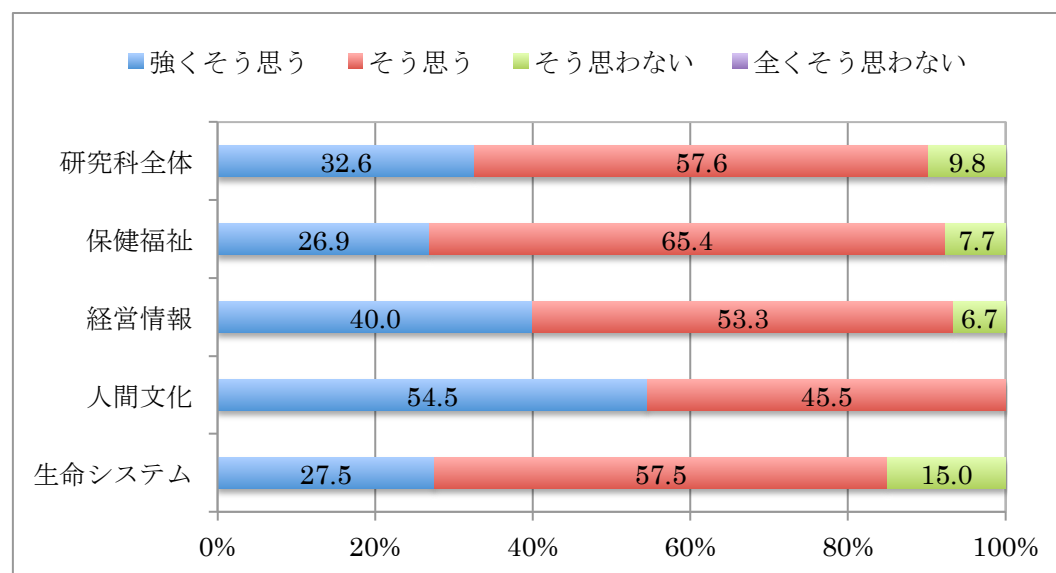


教員の熱意に対しては、90%以上の院生が「強くそう思う」または「そう思う」と肯定的であり、全体としては教員の取り組み姿勢は評価されている。保健福祉学専攻と生命システム科学専攻では、約8%が「そう思わない」と回答している。

【成績評価に関する質問】

8. 授業の成績評価は適切に行われているか。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

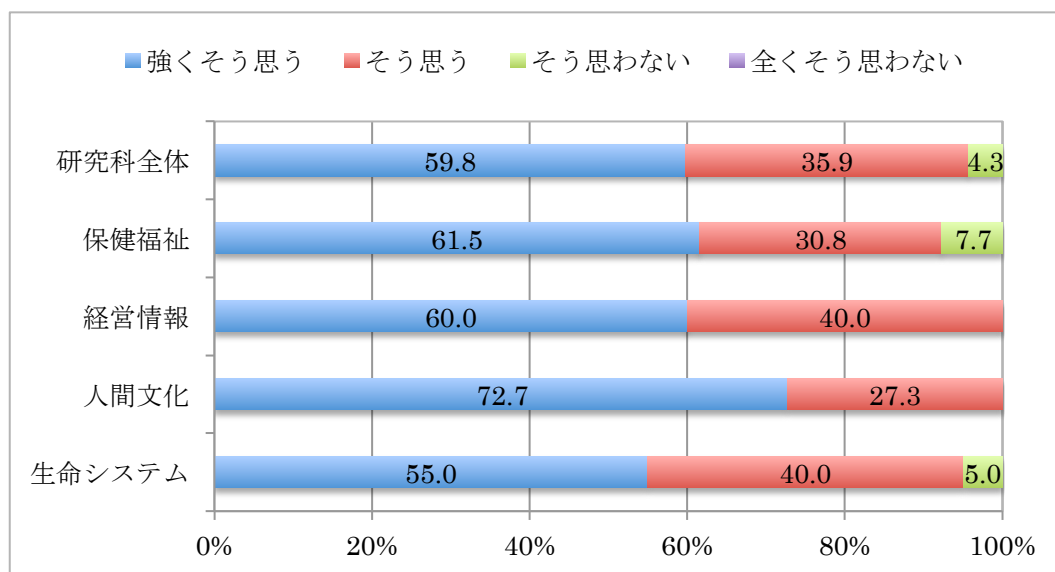


授業の成績評価は適切に行われているかの質問では、「強くそう思う」、「そう思う」と90%以上の学生が回答しており、授業の成績評価は概ね適切に行われている。

【研究指導に関する質問】

9. 専攻での研究指導は適切に行われている

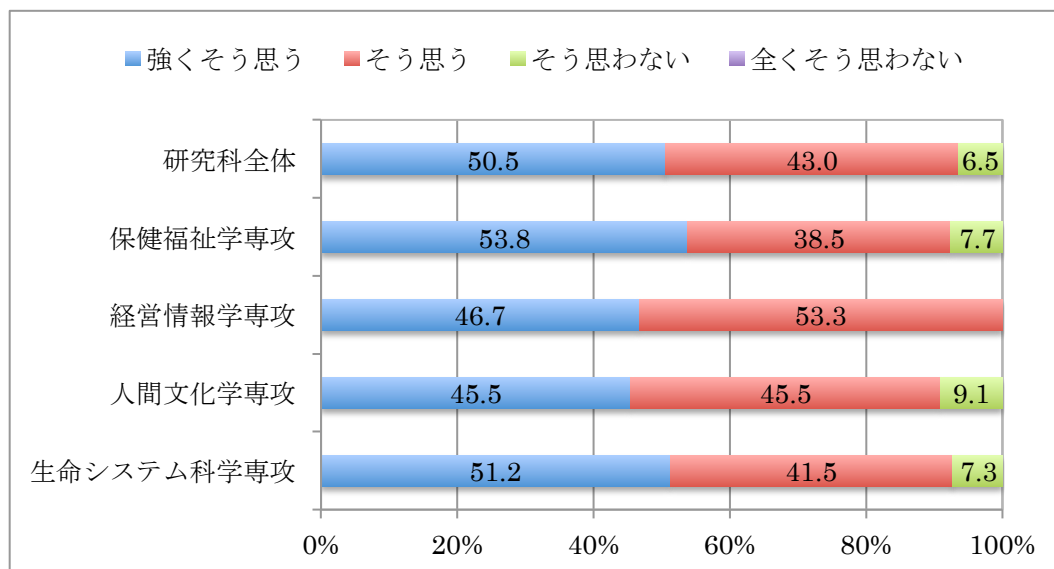
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、研究指導は適切に行われているとの質問に、「強くそう思う」または「そう思う」と90%以上の院生が回答している。保健福祉学専攻では約8%の院生が「そう思わない」と回答している。研究指導に対する対策が必要である。

10. 現在取り組んでいるテーマに満足しているか。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

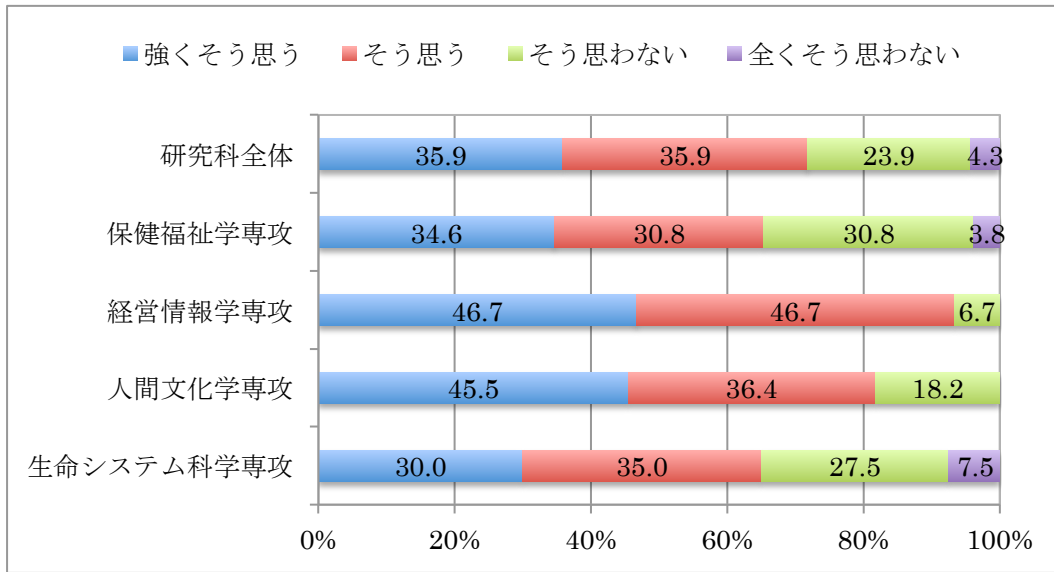


研究科全体では、現在取り組んでいるテーマに約90%の院生が満足している。人間文化学専攻では約9%が、保健福祉学専攻では約8%が、「そう思わない」と回答している。

【研究環境に対する質問】

11. あなたの研究環境は質・量とも良好(1)実験室

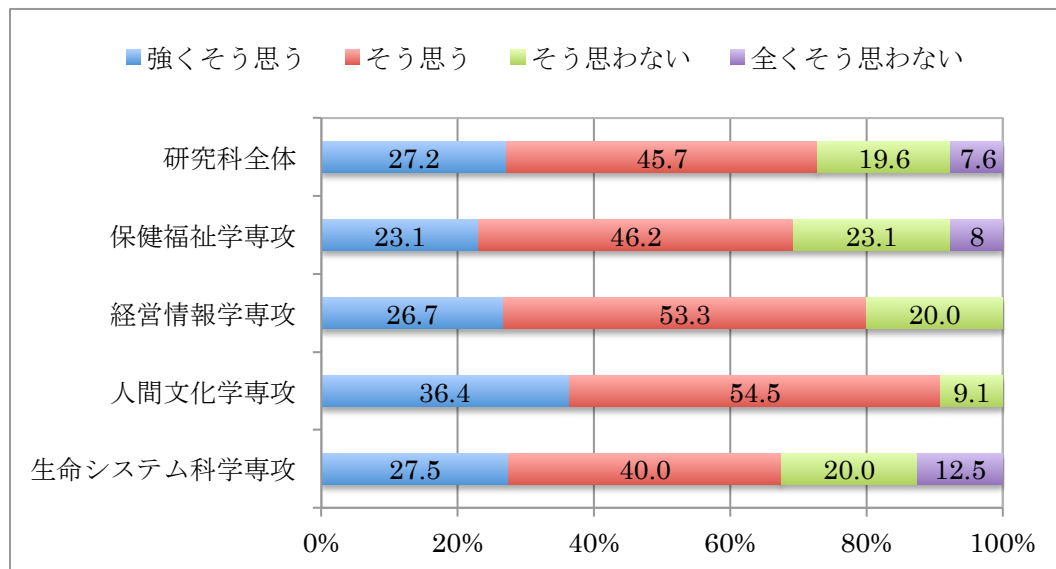
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、約 72%が実験室の研究環境に満足している。一方、保健福祉学専攻では約 31%が、生命システム科学専攻では約 28%が、人間文化学専攻では約 18%、経営情報学専攻では約 7%が「そう思わない」と回答し、生命システム科学専攻では「全くそう思わない」の回答が約 8%であった。

12. あなたの研究環境は質・量とも良好(2)実験機器

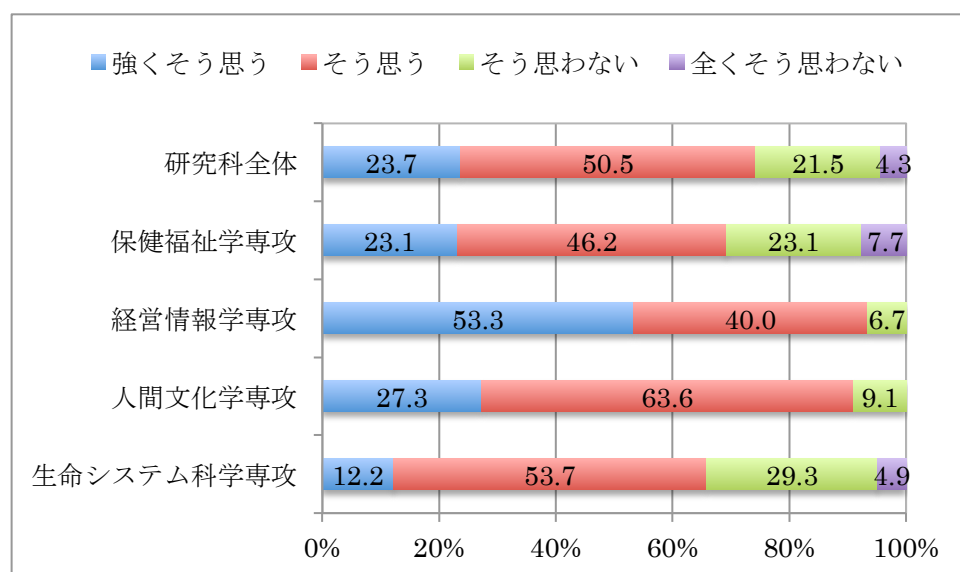
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、約 73%が実験機器の質・量ともに満足している。一方で 27%が「そう思わない」、2%が「全くそう思わない」と回答した。保健福祉学専攻では 31%、人間文化学専攻では 9%、生命システム科学専攻では 33%が「そう思わない」または「全くそう思わない」と回答した。

13. あなたの研究環境は質・量とも良好(3)図書

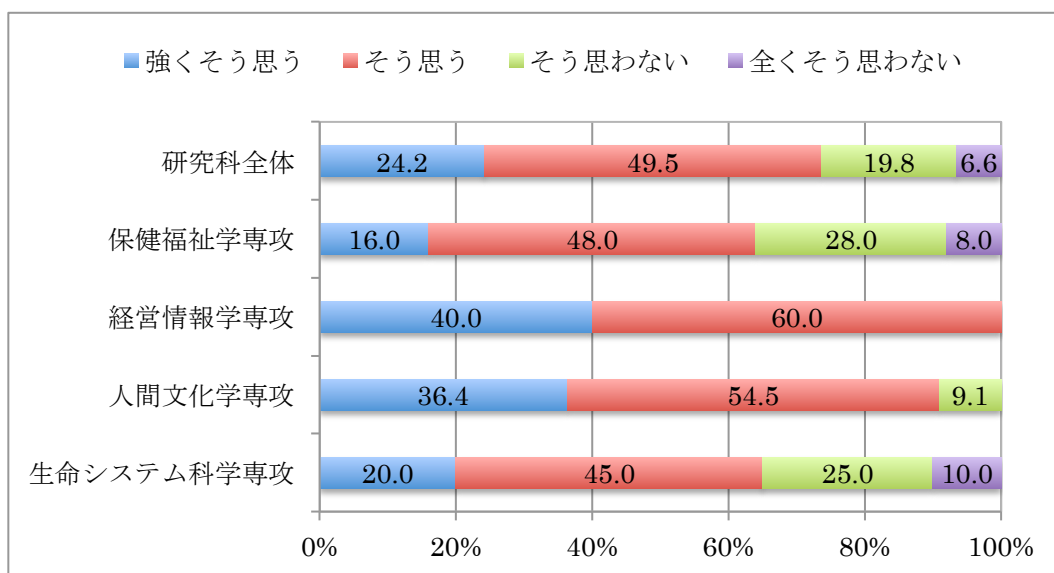
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、74%が図書の質・量ともに満足している。一方で、26%が「そうは思わない」、「全くそう思わない」と回答した。生命システム科学専攻では34%が「そう思わない」または「全くそう思わない」と回答した。

14. あなたの研究環境は質・量とも良好(4)コンピューター

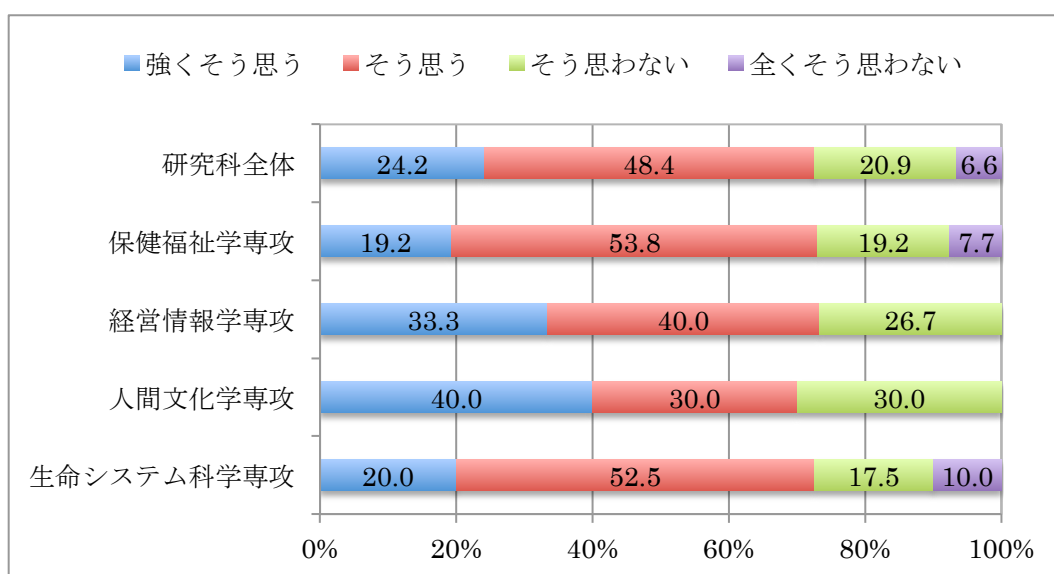
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



コンピューター設備の量と質については、研究科全体では74%が良好であると回答している。保健福祉学専攻では36%、生命システム科学専攻では35%、人間文化学専攻では9%、が「そうは思わない」または「全くそう思わない」と回答した。

15. あなたが利用できる大学院生として研究用スペースが適切に備わっている

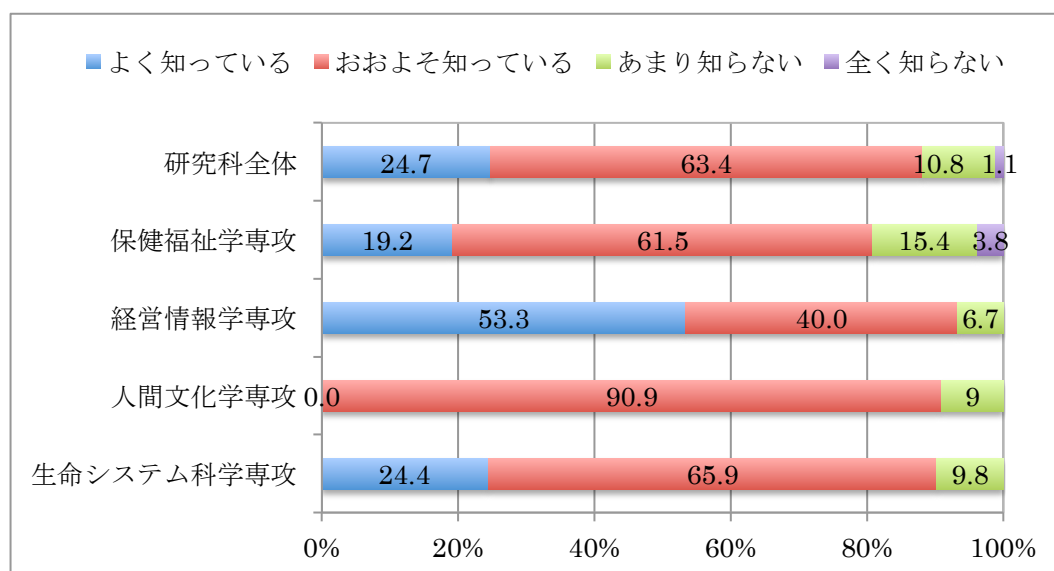
1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	------	---	------	---	--------	---	----------



研究用スペースについては、研究科全体では73%が「強く思う」または「そう思う」と回答した。一方、27%がまだ十分ではないと回答した。人間文化学専攻では30%、生命システム科学専攻では28%、保健福祉学専攻と経営情報学専攻では各27%が、「そう思わない」または「全くそう思わない」と回答した。

【学位取得に関する理解に関する質問】

16. あなたは、在籍する課程において、学位を取得するためには、どのような前提条件を満たさなければならないか研究科や専攻の規則や規程をどの程度知っていますか。

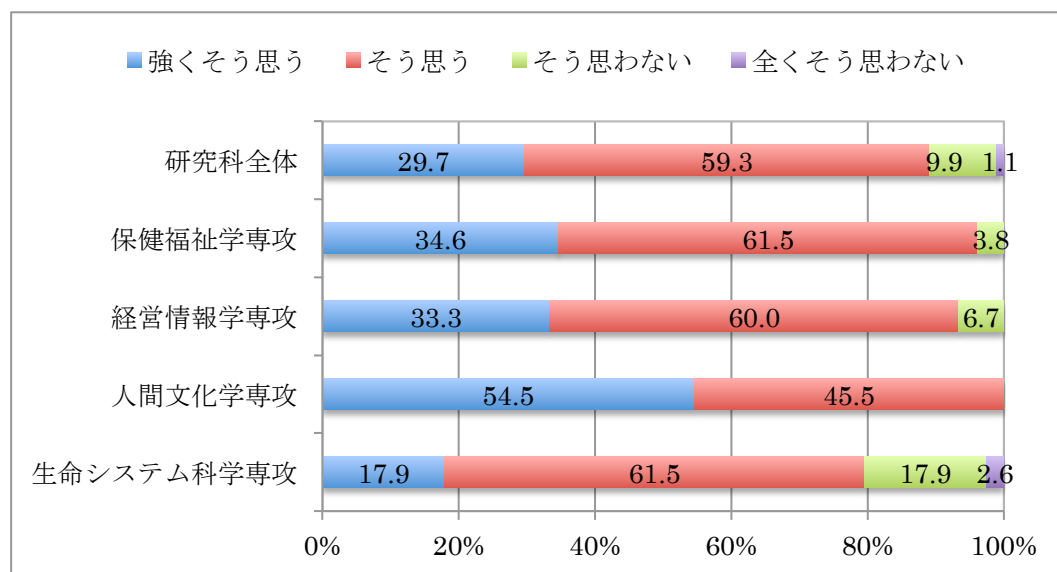


研究科全体では、「よく知っている」と「おおよそ知っている」と回答した院生の割合は、約88%と非常に高い。経営情報学専攻、人間文化学専攻、生命システム学専攻では、90%以上である。保健福祉学専攻では、19%が「あまり知らない」、「全く知らない」と回答している。

【大学院に対する満足度に関する質問】

17. あなたは総合的に判断して、この大学院に満足している

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

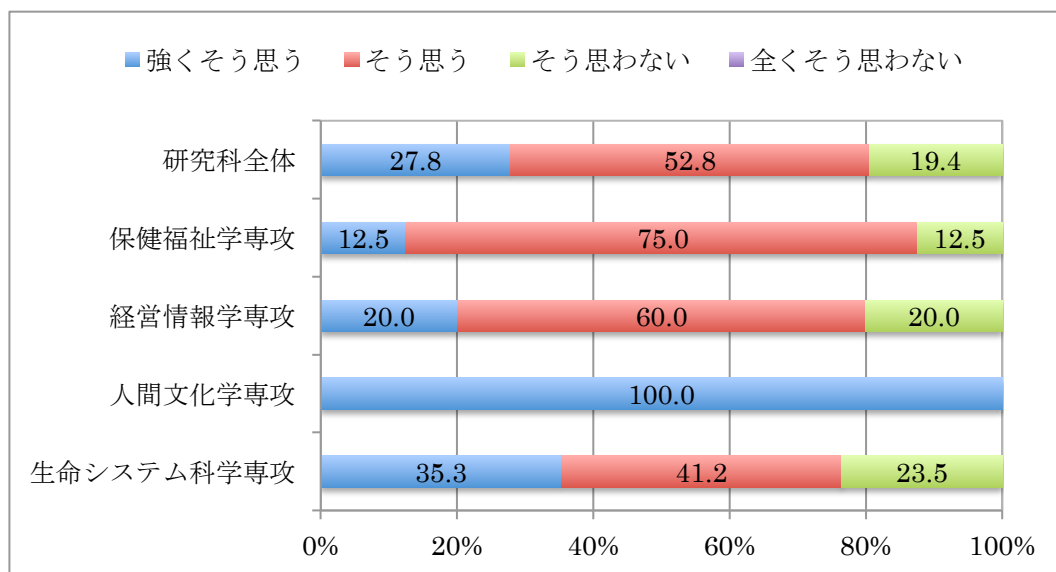


研究科全体では89%が総合的に判断してこの大学院に満足していると回答した。人間文化学専攻が100%、保健福祉学専攻96%、経営情報学専攻93%の満足度に対して、生命システム科学専攻では79%と他専攻と比べ院生の満足度が低く、改善が必要である。

【修了予定院生の就職に対する満足度に関する質問】

18. 本年度に修了予定の院生に聞きます。内定した就職先には満足している。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



本年度に修了予定で内定した就職に満足していると回答した院生は、研究科全体では80%が満足であると回答した。人間文化学専攻では、100%、保健福祉学専攻では、88%、経営情報学専攻では、80%、生命システム科学専攻では、77%の院生が内定した就職先に満足であると回答した。